

ICT活用工事計画書

【工事概要】				
工事名				
工事箇所				
受注者名				
土工量				
【内容】				
チェック欄	施工プロセスの段階	作業内容	採用する技術番号	技術番号・技術名
<input type="checkbox"/>	①3次元起工測量	/		1. UAV空中写真測量による起工測量 2. TLSによる起工測量 3. その他の3次元計測技術を用いた起工測量 [3. を選択した場合の技術名称:]
<input type="checkbox"/>	②3次元設計データ作成	/		
<input type="checkbox"/>	③ICT建設機械による施工	<input type="checkbox"/> 掘削工 <input type="checkbox"/> 盛土工 <input type="checkbox"/> 表土扱い <input type="checkbox"/> 基盤造成 <input type="checkbox"/> 表土整地 <input type="checkbox"/> 不陸整正 <input type="checkbox"/> 下層路盤 <input type="checkbox"/> 上層路盤		1. バックホウ(ICT施工対応型) 2. ブルドーザ(ICT施工対応型) 3. モータグレーダ(ICT施工対応型) ※採用する機種及び活用作業工程・施工範囲(別途平面図等による)については、受注後の協議により決定する。
<input type="checkbox"/>	④3次元出来形管理等の施工管理	<input type="checkbox"/> 出来形 <input type="checkbox"/> 品質		1. TS等光波方式出来形管理技術 2. UAV空中写真測量出来形管理技術 3. TLS出来形管理技術 4. その他の3次元計測技術による出来形管理技術 [4. を選択した場合の技術名称:] 1. TS・GNSSによる締固め回数管理技術(土工) 注5)品質管理をしない理由 []
<input type="checkbox"/>	⑤3次元データの納品	/		

注1)ICT活用工事の詳細については、「土地改良事業ICT活用工事試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注2)ICTを活用する施工プロセスに「■」を付けること。

注3)採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。
(「採用する技術番号」欄の記載例 : 「1」, 「1, 3」)

注4)①、④において、「3or4. その他の…」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注5)品質管理(締固め回数管理)をしない場合は、理由を記載すること。
(理由例:「掘削工のみのため。」、「土質が頻繁に変わり、その都度試験施工を行うことが非効率であるため。」等)